



よい年をお迎えください

今日で2学期も終わり、2022年も終わりが近づいています。今年は行動に制限がありながらも、煌鳩祭や修学旅行などの行事を行うことができました。依然新型コロナウイルス感染症には気を付けなければなりません、進路については予定通り進んでいきますので、ぬかりなく進めていきましょう。3学期の始業式では、元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。

受験票について（私立・専修・国立）

ネット出願の登録は順調に進んでいますが、「受験票の印刷はどうすればいいですか？」という問い合わせが相次いだので、ここで確認したいと思います。

①既に印刷ができる状態の学校

受験料の支払いができたことにより、受験票の印刷が可能な学校があります。その場合は各自で印刷して、なくさないように保管をしてください。学校によって願書のような形式なものが出てくる学校もありますが、中学校に持ってくる必要はありません。

②印刷がこれから学校

各学校の募集要項に〇月〇日から印刷が可能と書かれている学校については、その日以降に印刷をしてください。また、メールで印刷が可能になりましたと知らせてくれる学校もありますので、そのメールが来たら印刷をしてください。

③全体に共通すること

いずれの学校についても、中学校に持ってくる必要はないので、各自で確実に保管をしてください。受験当日は、受験票のほうを切り離して持参します。控えに載っている注意事項をよく読んで、確認をしてください。



第3回実力テストについて

1月11日（水）に、第3回実力テストを実施します。これが最後の実力テストになります。これまでに勉強してきた成果を試す絶好の場です。入試に向けて自信を付けるためにも、冬休みの間にしっかり勉強をしましょう。

【実力テスト出題範囲】

国語…説明的文章の読解、文学的文章の読解、漢字・語句、古文

数学…1, 2年の範囲, 3年（円の性質（P179まで））**定規必要**

社会…1, 2年の範囲, 3年（国民主権と日本の政治（P121まで））

理科…1, 2年の範囲, 3年（教科書P4～229 力と運動）**定規必要**

英語…1, 2年の範囲, 3年（Let's Listen 5（P88まで））**リスニング問題あり**



公立願書下書きについて

1月10日（火）の学活の時間に公立高校入学者選抜の願書の下書きを行います。全日制課程の推薦選抜・特色選抜・一般選抜、定時制課程のものを書きます。2学期の保護者会で確定書を提出しているので、そこで記入している学校を書きます。中には、私立高校の可否の結果次第で志望校が変わる人もいますが、その場合は高校名のところは空欄にして、住所や名前、生年月日などを書きます。公立高校については手書きの願書となります。どの部分に関しても丁寧に書きましょう。正しく書いていなかったり、書き忘れがあったりすると、出願で受け取ってもらえずに受検ができないということになります。誰もが読める字で、丁寧に書くようにしましょう。

公立入試受検料について

公立高校受検にかかる収入証紙の購入に必要なお金の集金は、1月11日（水）～1月20日（金）で行います。封筒を配付しますので、お金を入れて担任の先生に提出してください。推薦選抜・特色選抜を希望する場合は、一般選抜の分も集金します。その場合、推薦選抜・特色選抜で合格した場合は、一般選抜の2、200円分を返金します。

なお、収入証紙購入後の払い戻しはできません。私立高校等の可否結果によって、第2志望校の受検を取り止める場合は、結果が出たら直ちに担任の先生に連絡してください。

推薦選抜または特色選抜受検の場合・・・4, 400円（一般選抜の受検料も含む）
一般選抜受検の場合・・・・・・・・・・2, 200円
定時制受験場合・・・・・・・・・・950円

受験当日について

今年度から駅チェックは行わず、受験に関しては各自の責任において受験校まで行くという形になります。当日の朝は職員が中学校で待機しているので、何か困ったことがあったら連絡してください。また、冬休み中に対策してほしいことを以下のようにまとめましたので、そちらをご覧ください。



①受験校までの行き方の確認

体験入学に参加していない学校があれば、できれば冬休み中に下見のつもりで行くことをおすすめします。出願のときに自分で出向くことがないので、道順などを事前に調べておくといいです。事前に駅から学校までの地図を印刷しておくのもいいと思います。

②規則正しい生活を送る（早寝・早起き）

受験の日は朝早く出発をします。場合によっては6時半ぐらいの電車に乗って出発することもあります。日々の生活で決められた時間できちんと起きるという習慣をつけられれば、いざというときでも対応ができると思います。日ごろから早寝早起きの習慣をつけましょう。

③いざというときの連絡先を記録しておく

受験校まで行く途中で、事故や体調不良など急に受験ができない事態が起こることもあります。まずは中部中学校（0562-55-3900）に連絡することになりますが、場合によっては自宅や保護者の携帯電話にかけることもあると思うので、電話番号を生徒手帳にメモしておくといいです。暗記しておくのもいいかと思います。さらに、公衆電話の使い方が分からない人は事前に確認しておきましょう。

中学校では、受験の直前に事前指導を行います。そこでは、さらに細かいところの話もしていきますが、今のうちからできることをやっておいて、あとで慌てることのないようにしていきましょう。